

調布市長 長友 貴樹 様
調布市教育委員会 教育長 大和田 正治様

2022年8月10日

日本共産党調布市議団

岸本 直子

雨宮 幸男

武藤 千里

坂内 淳

すべての市民や子ども達、教職員に

安倍元首相への弔意強制を行わないことを強く求める要望書

参議院選挙中、安倍晋三元首相が7月22日地方遊説中に銃撃され死亡する事件が発生しました。

政府は法的根拠も国民的合意もないまま、閣議決定で安倍元首相の国葬を行うことを決めましたが、安倍元首相の国葬に対する各世論調査では賛否が二分されているのが実態です。

こうした中、東京都教育委員会が安倍元首相の葬儀の日に、都立学校に対して「半旗掲揚」を依頼し、それに応じた都立学校が複数あったことが報道されました。このことは教育基本法の「政治的中立」に反する恐れを専門家からも指摘されており、学校を含む官公署などにおいて半旗掲揚等が強いられば、すべての市民、子ども、教職員に弔意を押しつけ、日本国憲法に謳われた「思想・信条の自由」「内心の自由」を侵害することにつながりかねません。

よって、調布市におかれましては、地方自治体として、日本国憲法を基本に、市民・子ども・教職員一人ひとりの「思想・信条の自由」「内心の自由」を守り抜き、弔意の強制となるすべての行為を行わないよう、強く求めるものです。

以上